



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

緊急車両が進出出来ない町道の状況について (令和元年6月)

町民の生命を守る緊急車両が進出できない町道の状況と整備計画は。

高齢者対策として

(令和3年12月)

高齢者の個人住宅のエアコン設置に、補助ができないか。

質問

消防車(中型車)が進出することが難しいと思われる路線は46路線ある

町道の整備予算と地権者の同意が得られるかが重要である。

近隣市町村の動向を踏まえて検討する

県内の4市が、令和3年度の単年事業として導入をしている。

答弁

現在の状況は、こうなっています

46路線のうち、2路線の拡張工事を行っている

町道8-0357号線(高久地内)、8-1056号線(錫高野地内)の工事を行っている。今後も、日常生活の利便性や災害時の安全など、住みよい環境づくりのため、整備をすすめていく。

現在のところ補助は考えていない

今、現在(令和4年度)、補助を行っている市町村はない。今後、近隣市町村の動向、状況を踏まえながら検討していきたい。

編集後記

かつて不毛の地といわれた東京代々木にある「神宮の森」は、100年前に造られた「人工の森」です。

それは、森の設計を担う3人の学者が、50年、100年、150年先の森を見据えた壮大なプロジェクトでした。時の政府に大反対されるも、学者たちは、綿密な研究結果の提示と、将来を見据えた強い信念をもって政府を説き伏せ、現在、命あふれる森となりました。自分がこの世を去った100年後の森の姿に想いを託し、真摯に取り組んだ学者たちの情熱には胸を打たれます。

私たちも、すべてに対し、神宮の森のごとく、将来を見据えた強い信念をもって町政を担っていくことが大切だと思います。

綿引 静男 記

議会広報委員会

- 委員長 桜井 和子
- 副委員長 藤咲 美子
- 委員 高橋 裕子
- 委員 金長 秀男
- 委員 綿引 静男
- 委員 飯村 栄子